

各位

2015年6月25日
株式会社博報堂DYホールディングス

博報堂DYグループ、“生活者データ・ドリブン”マーケティングを推進する二組織を新設

株式会社博報堂DYホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：戸田裕一）は、生活者データを利活用したマーケティング活動の実践を支援するグループ横断型の組織「博報堂DYグループ・次世代オウンドメディア・マーケティングセンター」ならびに「博報堂DYグループ・マーケティングプラットフォーム・ソリューションセンター」を新設いたしました。

近年のデジタル環境の変化に伴い、生活者の情報接触行動や購買行動を、「データで可視化」することが可能となり、企業のマーケティングへのデータ利活用はますます本格化しつつあります。また、企業のホームページなどの「オウンドメディア」やSNSの浸透が、企業と生活者を直接つなぐ機会を増加させており、生活者とのつながりを活用したマーケティング活動も拡大しています。

これらの変化に対して、博報堂DYグループはこれまでグループ各社それぞれが専門組織を立ち上げ対応してまいりましたが、顧客企業からのニーズ拡大に伴い、グループ横断型の組織を新設、対応力の強化を図ります。新設組織は、企業のWEBサイトをハブとし顧客との継続的な関係を構築する「オウンドメディア・マーケティング」の強化と、「マーケティングプラットフォーム¹」の導入を通じたマーケティングの自動化・効率化を推進いたします。当社グループ内の専門組織のナレッジを集約し、高度化するテクノロジーを取り入れた次世代型の新たなソリューションを開発・提供してまいります。

今回の新組織の設置は、博報堂DYグループ「中期経営計画」（2015年3月期～2019年3月期）における成長ドライバーのひとつ「“生活者データ・ドリブン”マーケティング対応力の強化」の一環です。「次世代オウンドメディア・マーケティングセンター」「マーケティングプラットフォーム・ソリューションセンター」はそれぞれの専門性を活かしながら、「“生活者データ・ドリブン”マーケティング」を推進する組織として、連携してまいります。

■組織の概要

【博報堂DYグループ・次世代オウンドメディア・マーケティングセンター】

マーケティングコミュニケーションのツールとして機能してきた企業のオウンドメディア（ウェブサイト、スマホアプリ、ソーシャルメディアサイト、メルマガ等）を、ストラクチャ、流入機能、拡散機能、体験機能を統合的にリデザインし、企業のマーケティング活動の核となる次世代型の装置へと

¹ マーケティングプラットフォーム：企業のマーケティング活動を効率化、自動化し、お客様とのコミュニケーションを統合的に管理するツールやシステム

発展させる支援を行う。ブランド・マーケティング戦略立案、コンテンツマーケティング展開、生活者データ活用を通じて、統合的なオウンドメディア・マーケティングを具体化する。

- ・ リーダー：茂呂 譲治
- ・ 人 数：30名程度（設立時）

【博報堂DYグループ・マーケティングプラットフォーム・ソリューションセンター】

CRM、マーケティング・オートメーションなど、顧客管理ツールのマーケティング視点での導入／利活用の支援に加え、DMPなどの、複数ツール連携や、生活者データを起点とした統合マーケティング支援ツールの導入、運用体制構築、PDCA業務のサポートを行う。営業（販売・店舗）連携強化、マーケティング業務の棚卸し、業務プロセス再設計、マーケティング関連システム構築・運用、分析支援など、部門、グループ各社が実務を通じて培ったノウハウを、企業のニーズに即し組み合わせて提供する。

- ・ リーダー：山之口 援
- ・ 人 数：30名程度（設立時）

以 上

本件に関するお問い合わせ先

博報堂DYホールディングス グループ広報・IR室 西本
(TEL:03-6441-9062)